令和６年度
新発田地域水稲生育速報No. ３

令和6年6月20日
新発田農業普及指導センター

茎数急増中！中干しを徹底！

出穂期は早まる見込み。極早生・早生品種は適期に穂肥施用

〇茎数が多く、生育過剰が懸念されます。中干しを継続しましょう。
〇出穂期は3日程度早まる見込みです。極早生・早生品種は遅れずに１回目の穂肥を施用しましょう。

１　コシヒカリ生育概況（６月20日調査）【稲姿】草丈：長、茎数：やや多

草丈…	38	cm	（	指標比		112	%、	長 ）
茎数…	372	本/㎡	（	同上		106	%、	やや多 ）
葉色…	38.0	（葉緑素計）	（	指標差	＋	0.5	、	並 ）
葉数…	8.8	葉	（	同上	＋	0.5	葉、	やや早 ）

〇６月前半の気温は平年より高く、日照時間も多く、指標に比べて生育は早いです。
〇中干しは各地で行われていますが、茎数は多い状態のため、中干しを継続しましょう。

２　気象予報（新潟地方気象台・６月20日発表）

〇暖かい空気に覆われやすいため、向こう１か月の気温は高いでしょう。
　特に期間の前半は、かなり高くなる可能性があります。
〇こまめに水分補給し、熱中症に気を付けましょう。

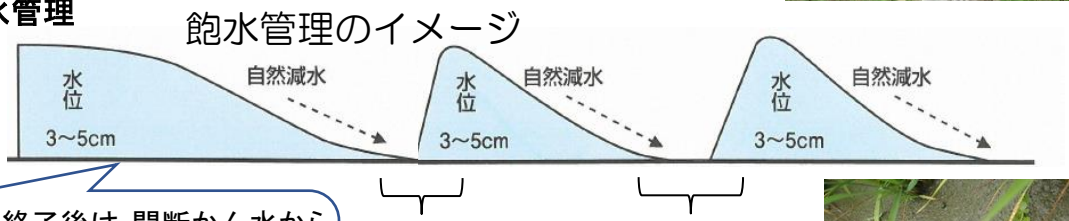
３　当面の対策

（１）中干し

中干しの強さは小ヒビが入る程度とし、出穂1か月前までを目安に終了しましょう。

切った溝のタテ溝とヨコ溝の連結、水口と水尻とのつなぎを確認しましょう。

（２）飽水管理



中干し終了後は、間断かん水から徐々に飽水管理に移行し、うわ根の発生促進や根の健全化に努めましょう。

足跡に水がたまっている状態になったらかん水する。

（３）斑点米カメムシ類対策

◎ 草刈り重点推進期間です。
　特にイネ科雑草に注目して畦畔・農道の計画的な草刈りを実施しましょう。

（４）極早生・早生品種の穂肥施用

〇出穂期は平年より３日程度早まる見込みです。極早生・早生品種は間もなく幼穂形成期を迎えるので、幼穂を確認し、適期に１回目穂肥を施用しましょう。

【次回は７月１日に水稲生育速報No. ４を発行予定】

【新発田地域水稲生育速報メールマガジン登録者募集中です！】

○ 新発田地域在住の稲作生産者のみなさまへ
稲作の生育状況と管理情報･緊急情報などを､パソコンや携帯電話にお届けします！

○ 登録方法（メールのみの受付です。登録無料）
メールに、以下の必要事項を記載し、送信してください。
宛先： shibatamai.info@pref.niigata.lg.jp
件名： 稲作生育速報メルマガ登録（必ずこのタイトルでお願いします）
本文： ①市町村名　②氏名　③送信希望のメールアドレス
（③は､申込みに使用したものと異なるアドレスへ送信希望の場合）

※ いただいた個人情報は､配信以外の目的に利用は致しません。
※ shibatamai.info@pref.niigata.lg.jp からのメールの受信許可設定をお願いします。

○ LINE公式アカウントを開設しました。６月～10月の期間､新発田地域の稲麦大豆栽培に関わる情報を発信します。　※令和６年度はメールマガジンと併用

登録はこちら →